

平成30年度事業報告書

特別養護老人ホーム 淳風おおさか
特別養護老人ホーム事業
(介護予防) 短期入所生活介護事業
(介護予防・日常生活支援総合事業) 通所介護事業
居宅介護支援事業
診療所事業
地域総合相談窓口事業

理事会で承認されました、平成30年度の事業計画において

①介護職員の腰痛対策の強化

②認知症ケアの推進

③誇りを持って働ける職場作り

以上の3点を全体の目標として各事業を運営しましたので、5カ年計画の進捗と共に報告致します。

①介護職員の腰痛対策の強化

- ・セルフマネジメントについては、特養、デイ共に入浴介助前後の体操、ストレッチを導入し、定着することが出来た。
- ・腰痛対策委員会より読書療法の一環として「魔女の一撃！通信」を発刊。遊び心を取り入れながら情報発信しており、好評を得ている。
- ・外部講師の活用については、10月24日職員会議後に株式会社国宝の理学療法士に依頼して、血液循環等の身体の仕組みの講義とストレッチ方法の実技講習を行い22名の参加があった。また、その際に本人は腰痛リスクを認識していないが、柔軟性等リスクが高い職員がいることが判明。施設内の機能訓練指導員（柔道整復師）による腰痛検診を全介護職員に実施し、腰痛リスクやストレッチ方法の助言等を行っている。
- ・上記の取り組み等により、セルフマネジメントについては、ある程度定着することが出来たと評価し、第三四半期からはノーリフトに向けた取り組みを開始している。これについては平成31年度に実現できるよう継続して取り組む予定である。

②認知症ケアの推進

- ・基礎編の勉強会では杉本管理医師から脳の機能や構造の勉強を行った。職員からは普段交流の少ない医師から直接話しを聞ける良い機会となっている。
- ・応用編の勉強会はユマニチュード技法を中心に来年度より実施していく予定。

- ・現在は、認知症の基礎理解から活用できるツール紹介まで含めた、実際に使えるマニュアル作成に取り組んでいる。
- ・認知症介護基礎研修には2名参加。認知症介護実践・リーダー研修には申込するも応募多数により受講することが出来なかった。

③誇りを持って働ける職場作り

- ・OFF-JTについては、基礎編の勉強会を10月より実施。各委員会から座学を中心とする基礎講座を行い、統一した基礎を学ぶことで、長年勤めている職員と新入職員との隙間を埋めることが出来ている。また、講師役も介護リーダーが中心となって行うことで、遣り甲斐や責任感に繋がっている。
- ・各委員会にも介護リーダーが出席することで、各委員会と現場との温度差が縮まり、より現場に即した議論が行えており、取組内容の意図もスムーズに理解してもらえるようになった。
- ・特養介護主任で構成しているサービス向上委員会において、今年度は「業務の無駄、無理を省いて時間短縮し、ご入居者への時間を作る」をテーマに取り組んでおり、第三三四半期の実績としては、ナーシングカート(75,978円×5台 計379,890円)購入した。購入にあたっては、委員会主導でデモ機の評価等を行う等検討を重ねた上で購入に至っている。

④5カ年計画の進捗状況

平成29年度から5カ年計画として、

1. 職員一人ひとりが誇りを持って働ける職場作り
2. ご入居者、ご利用者、ご家族の満足度の向上
3. 地域包括ケアシステムにおける淳風おおさかの役割の明確化

の3点を掲げている。この2年間では、主に1に取り組んでおり、組織形態の在り方、権限の譲渡等を意図的に行ってきた。結果、職員の自主性が芽生え、責任感や達成感に繋がる事が出来た。また、新たな取り組みを行う際、意図が全職員に浸透しやすくなった等の効果も見られる。

年度末における施設長面談においても、昨年度末に比べ、ポジティブな意見や人間関係が非常に良いという意見が殆どであり、楽しく仕事が出来ている職員が殆どであった。職場の雰囲気非常に良くなっている実感を得られ、働きやすい職場作りが着実に進んでいると評価できる。

今後も職員一人ひとりが誇りを持って働ける職場作りを行うことで、ご入居者、ご利用者、ご家族の満足度の向上に繋がることを意識して取り組んでいきたい。

《各事業の報告》

	稼働率		
	今年度	前年度	前年比
特養	96.9%	98.2%	98.6%
S S	104%	93.5%	111.2%
合算	97.7%	97.7%	100.0%

①特別養護老人ホーム

- ・年間通しての平均介護度は前年度 4.01 に対し、平成 30 年度は 4.03。平成 31 年 3 月実績では、4.05 となっている。
- ・平成 30 年度の平均稼働率は 96.9% であり、目標の 98.0% を 1.1% 下回った。主な要因としては、慢性期の医療ニーズに対して治療方針が定まらずに長期化しているケースが複数見られた事等による。これに対し、入院中からフォローのインフォームドコンセント実施し、日数短縮に努めている。
- ・入居申込者の獲得については、事業所訪問に加えて新聞折り込み等を実施。時間差はあるものの、随時反応がある為、今後も定期的にも実施していく。
- ・平均介護度もケアマネが中心となり、認定調査前のアセスメントを徹底し、正確な情報提供を行っている事が功を奏し、年間平均 4.03 となっている。
- ・看取り介護でのお見送は 18 件。淳風おおさかでは初めて看取り介護が解除となり、療養型へ転院されるケースがあった。今後も決して押しつけの看取り介護ではなく、選択肢のひとつであることを常に意識して取り組んでいく。
- ・上期には急な退職が相次ぎ、また職員採用が非常に困難を極めたが、各フロアのリーダー層が主体となってインカム活用等フロア間の連携の在り方や業務見直しを行うことにより、何とか乗り切る事が出来た。また、互いに調整を行うことで、有休等の消化も行う事が出来たこともあり、職員の満足度の向上に繋がっている。
- ・腰痛対策の効果により、腰痛による欠勤や退職は生じていない。今後は本格的な機器導入により、生涯介護職員として働ける職場作りを目指す。

②短期入所生活介護

- ・平成 30 年度の平均稼働率は 104.3% であり、目標の 90% を大きく上回ることが出来た。主な要因としては、意図的に長期利用者枠を無くし、新規受入強化したことにより、実利用者数が増加したことによる。
- ・感染症等による大幅なキャンセルもなく、高稼働率を維持できた。
- ・在宅の看取り介護での受入が 2 件あった。ご家族や主治医を含めたチームケアが行え、結果的に自宅でご逝去され、ご家族から感謝の気持ちが伝えられた。今後も看取り介護のニーズが増えてくることが予想されるが、安易に受入るのではな

く、情報共有や連携の在り方を確立していく。

- ・今後のニーズとしては、重度の認知症ご利用者が増えてくることが予想される。今まで以上に受入られるよう体制を整えると共に、他フロアで受け入れた際にも適切な介護が提供できるよう、情報共有の強化を図っている。

③通所介護

	稼働率		
	今年度	前年度	前年比
通所介護	71.9%	73.0%	98.4%

- ・平成 30 年度の平均稼働率は 71.9%と目標の 75%を下回った。主な要因はコンスタントな新規獲得は出来ているものの、利用回数が多いご利用者の特養入居等が上回ったことによる。
- ・個別機能訓練加算の算定については、既存のご利用者は半数程度であるが、新規ご利用者からは 100%加算を算定出来ている。
- ・機能訓練の新たな機器の導入。効果を解り易く説明するチラシを作成し、営業に活かしている。
- ・職員の勤務体制については、二部制の導入を試みたが、全員 8 : 30 出勤に落ち着いた。その結果、意思統一の徹底強化や不必要な残業削減の効果がみられる。

④居宅介護支援事業所

	実働件数		
	今年度	前年度	前年比
要介護	817 件	648 件	126.0%
要支援	488 件	266 件	183.4%

- ・要介護はほぼ計画通りの増加。要支援は計画を大幅に上回る増加となった。
- ・紹介元は主に大淀地域総合相談窓口と大淀地域包括支援センター。徐々に口コミやサービス付高齢者住宅等新しい経路からの紹介も増えてきている。
- ・平成 31 年度では、もう一名ケアマネ増員し、特定事業所加算Ⅱの算定を目指す。
- ・内部監査での指摘を受け、マニュアルの再度見直しを行っている。平成 31 年度からは事業所内監査を実施し、コンプライアンスの徹底を図る。
- ・中津の食事会には毎月参加。地域との関係づくりは着実に行えてきている。
- ・主任ケアマネの受講が終了し、主任ケアマネ 2 名体制となった。事業所内ミーティングを活用し、専門性の向上を図る。

⑤大淀地域総合相談窓口

	実働件数		
	今年度	前年度	前年比

総合相談実件数	140 件	143 件	97.9%
総合相談延べ件数	835 件	983 件	84.9%

- ・相談件数は前年に比べて減少しているが、総合相談実件数 120 人以上、総合相談延べ件数 600 人以上のノルマは大幅にクリア出来ている。
- ・地域と協働しながらの問題解決については、毎年継続して行えているが、年度当初は社協や行政の人事異動があり、サポート体制の連携に支障を来した。
- ・地域貢献委員会において、淳風おおさかが地域に存在する施設として何ができるのかを共に考える機会が持てた。

1. 入居者数

2019年3月31日現在 80 名

2. 最終審査済入居待機者数(定例委員会終了時点)

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	5	6	10	10	6	8
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	8	8	6	6	6	5

3. 新規入居者数 ※措置入所含む

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	2	1	0	2	3	2	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人数	2	0	6	2	2	2	
						合計	24
						前年度	30

4. 退居者数※措置入所含む

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	3	0	0	4	2	1	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人数	2	0	7	1	2	5	
						合計	27
						前年度	30

5. 面会者数※延べ数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	387	453	351	381	445	450	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人数	384	436	450	437	360	432	
						合計	4,966
						前年度	4,743

6. 一日平均入院者数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	1.10	1.03	1.7	1.23	2.61	2.17	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人数	2.00	2.73	4.35	3.13	1.68	2.97	
						合計	2.23
						前年度	1.28

7. 救急搬送実施者

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
人数	1	0	0	0	0	0	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人数	1	3	2	1	1	0	
						合計	9
						前年度	5

8. 苦情検討委員会

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	6	0	1	1	2	2	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	0	0	0	1	2	0	
						合計	15
						前年度	26

9. 看取り介護実施件数

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	3	0	0	2	2	1	
月度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
件数	1	0	5	1	0	3	
						合計	18
						前年度	27

10. 介護度区分状況

3月31日現在

	男	女	計
介護 1	0	0	0
介護 2	1	5	6
介護 3	4	8	12
介護 4	2	28	30
介護 5	4	25	29
計	11	66	77
介護度 平均	4.0	4.1	4.06
前年度	4.0	4.1	4.06

30年度 施設内活動及び行事報告

淳風おおさか

1. 行事

行事(行き先)	実施日	入居者等 参加数	前年度入 居者 等参加数	家族 参加数	ボランティ ア
4月:お花見	4日、5日、6日、7日、8日	90	90		5
5月:しょうぶ湯	3日、4日、5日	90	90		
6月:行事食	20日	90			
7月:七夕	7日	90	90		
7月:鶴橋風月	10日	90	90		
8月:花火鑑賞会	4日	90	90	30	2
8月:納涼祭	26日	90	90	34	95
9月:敬老会	17日	90	90	12	
10月:焼き芋	2日、3日	90	90		
10月:行事食	10日	18			2
10月:行事食	22日	18		12	3
11月:行事食	14日	18		2	3
12月:ゆず湯	20日、21日、22日	90	90		0
12月:年忘れ会	18日	90	90	8	15
12月:清風寺餅つき	29日	22	30		
1月:新年会	8日	90	90		1
2月:節分	3日	90	90		1
2月:行事食	20日	18		0	
2月:行事食	25日	18		4	
3月:マグロ解体ショー	20日	90	90	4	1

2. クラブ活動

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度累計	前年同月累計
活け花クラブ	21	20	23	22	21	23	23	24	22				199	230
合計	21	20	23	22	21	23	23	24	22	0	0	0	199	230

3. ボランティア等による活動

月度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	今年度累計	前年同月累計
コーラス	11		10	11		6	8	8					54	144
童謡	3	3	3	2	3		3	2			2	2	23	19
銭太鼓	6	6	6	7		6	7	5			7	6	56	46
マジック	0	3	0	0	3	0	0	3	0	3	0	3	15	15
清風寺	11	12	23	24	24	16	22	29	9	9	20	16	215	215
傾聴	1	8	8	8	11	1		1	5	11	7	8	69	70
合計	36	35	31	37	21	41	32	29	29	15	35	38	432	509

4. 地域交流

交流団体	実施日	人数
わくわくフェア(ガレージセール)	5/13	8人
大淀中学校職場体験	5/24.25	4人
大淀東夏祭り	7/14.7/15	5人
新梅田シティ盆踊り	7/24	6人
社会貢献の日中公園掃除	9/15	2人
社会貢献の日中公園掃除	12/24	2人
ふれあいもち	12/30	3人

平成30年度施設外研修

研修名	主催	日程	参加人数
面接相談援助技術研修講座	大阪府社会福祉協議会	6/22	1
大阪市認知症介護基礎研修	大阪市社協	5/30.8/28	2
バリアフリー2018	大阪府社会福祉協議会	4/21	1
認知症ケアバリデーション	お茶の水ケア学院	6/16	1
緩和ケア研修会	大阪国際がんセンター	6/2.3	1
メンタルヘルスケア研修会	お茶の水ケア学院	7/20	1
ユマニチュード入門コース	(株)エクサウィザーズ	7/28.29	2
広報研修会	大阪府社会福祉協議会	8/1.9	1
老人施設過程	大阪府社会福祉協議会	6/5.10	2
ノーリフティング移動動作援助研修会	一般社団法人全国ノーリフティング推進協議会	11/13	2
老人介護 全国研修会	(株)雲母書房	12/1	1
職場研修推進研修、OJT推進研修	大阪市社会福祉協議会	2/28.3/1	1
応急手当普及員 更新研修	一般社団法人大阪消防振興協会	11/22	2
苦情解決第三者研修会	大阪府社会福祉協議会	1/28	1
アドラー心理学を用いたメンタルヘルス研修	お茶の水ケア学院	1/8	1
職員間の伝える力、聞く力向上研修会	お茶の水ケア学院	2/4	1
楽しレク、遊びリテーション研修	お茶の水ケア学院	2/21	1
かちん、むかつく、ぐさっの心理学研修	お茶の水ケア学院	3/9	1

平成30年度 施設内研修

研修名	主催	日程	参加者
倫理・法令遵守に関する研修	理事長	職員会議時	全職員
地域貢献に関する研修	施設長	職員会議時	全職員
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修	食中毒・感染対策委員会	職員会議時	全職員
苦情処理、事故防止の為の職員に対する研修	事故検討委員会	職員会議時	全職員
看取りに関する職員研修	施設サービス課長	職員会議時	全職員
身体拘束に関する研修	施設ケアマネ	職員会議時	全職員
基本的人権、プライバシー、個人情報に関する研修	理事長	職員会議時	全職員
事故防止の為の職員に対する研修	事故検討委員会	職員会議時	全職員
感染症又は食中毒の予防及びまん延防止の為の研修	食中毒・感染対策委員会	職員会議時	全職員
医療の基礎知識	医務室	職員会議時	全職員
非常災害時の対応についての研修	総務課	職員会議時	全職員
認知症の介護に関する研修	特養介護チーフ	職員会議時	全職員

シミュレーション

研修名	主催	日程	参加者
緊急時対応	事故検討委員会	5月	特養職員
災害時炊き出しシミュレーション	防災委員会	9月	全職員
感染予防	食中毒・感染対策委員会	10月	全職員
緊急時対応	事故検討委員会	2月	特養職員
緊急時対応	食中毒感染対策委員会	3月	特養職員

誤嚥及び心肺蘇生法

研修名	主催	研修日	参加者
救急救命講習	木村、太田、亀澤	6月	職員、地域住民
キャラバンメイト	太田、小室	5月	職員、地域住民
高齢者虐待について	身体拘束虐待検討委員会	9月	職員、ご利用者ご家族
看取り介護研修	医療行為及び看取り介護検討委員会	11月	職員、ご利用者ご家族